

あすなろ療育福祉センターの整備方法及び移転候補エリア

1 整備方法

移転建替とする。

【理由】

現在の施設は築39年経過し老朽化しており、大規模改修時期を迎えている。

整備方法として、長寿命化改修は、入所者に騒音・振動が悪影響を及ぼす可能性があるため、現実的ではない。現地建替は、移転建替に比べて整備に要する時間・費用が増大する。

また、現在地は、県立中央病院等との距離や交通の便などの立地状況が利用者にとって不十分である。

2 移転候補エリア

統合新病院建設予定地の近隣とする。

【理由】

新センターの医療・療育・福祉機能を充実させ、利用者の利便性の向上を図り、安全・安心な急性期医療を受けることができるようにするため、統合新病院の近隣に移転する。